

發行所 日伯新聞社
本紙定價
壹ケ年 貳拾五ミル
半ケ年 拾三ミル
エルネストデカストロ街十八番
郵函三七五

プレジョンにて

斷
生

カバナ線奥の邦人をも見ない譯には行かない、序を以てジュキア線竝にレヂストロをも見ない、絶無、只聴くものはサツボの聲、ビカ棉か何かによつて一家の經濟を立てても行かふと云ふ農業本職を無意識の間に行つて居たからである。

▲これが最近に到つてノロエスの影響を蒙つてチト稷調を失つてゐる、それとも尙難穀に植民と雖も等しくこれ日本人皮膚の色も同じなら故に同様に

深山古木平にしてさ支那人の在來の傾向は珈琲は逃せんものから今では誰も彼も珈琲を植

カバナ線奥の邦人をも見ない譯には行かない、序を以てジュキア線竝にレヂストロをも見ない、絶無、只聴くものはサツボの聲、ビカ棉か何かによつて一家の經濟を立てても行かふと云ふ農業本職を無意識の間に行つて居たからである。

▲これが最近に到つてノロエスの影響を蒙つてチト稷調を失つてゐる、それとも尙難穀に植民と雖も等しくこれ日本人皮膚の色も同じなら故に同様に

▲こんな意味合から深然ツロカバナ線の旅に立つた、月の十七日壱市を出で一走八百十五キロ十八日アルパレスマツシャード込んだ、斯くして文字通りの原始的生活を一日一晩味はつて数人となつて所謂ブレジョン植民地なるものを治んど偶から異ライものである。

ふ様な傾向が全植民を風靡するには至らない、殊に頼面しいのは兩植民地の邦人の間には『百姓は何でも植ゑるのが義務である。』

見て廻つた、一休を許さず二〇〇概觀するにツロカバナ線奥地
 十一日サントアナスタシオ行、の日本人植民地は先づよい方だ
 梅奔植民地でも同じことを繰りよいと迄云へないなら悪くない
 返し、畧は用事は足りた、一息方だ、素より本年の不景氣は一
 抜くと云ふ譯でもないが、玆ま般的だからソロカバナ線奥も亦
 で來たからには、パナ大河を見浮世なりけりて其影響を蒙らぬ
 ないじや話にならぬぞ、豫て社はなく、去年よりも儲けそこね
 友坂元靖君の勤めるものあるに、たゞそのこつものはあるが、然し
 任せ、二十三日ポルトエビタシノロエヌチ程にヒドクはない、
 オに出て、河中の小島に住む邦金廻りは悪いらしいがブレジョ
 人漁家に一服した。
 〇羅つたところでマリアア、命他線へ金借りに出掛た者としては
 聖上陛下御降誕四十七歳の御
 内宴は折柄御避暑中の日光田母
 澤御用邸に行はせられ御平常よ
 りも早く御起床午前九時四十分
 御運動を了えさせられ
 攝政宮 殿下の御使珍出東
 宮大夫外各内親王殿下の御使一
 勝れさせられ全日拜謁仰付けし

涼風ふかき日光御所に
よき日の御内ねん

皇太子妃殿下には九月上旬葉山御用邸からご歸還後ご機嫌ます
く麗はしくあらせられ豫定の

アン・フローリンを絞首にする事を命じ、他方マルチン・ベレス・デ・イリヤールには永久の紀念として戦闘に於て得た帆船、とり及旗を其の家紋とせんことを命ぜられた。

△ ▽ ▽ ▽

今これを書いてゐると、伯母が讀んで呉れて、俺が海賊の生活や習慣などに就て伯母に種々尋ねた事を思ひ出す。そして伯母が此等運命に托して流浪する俺はこんな家の物語りや冒險談と共に讀み書きを覺えた。不識なる事には何時もアギレ家の中の或る冒險家で其の最後の知れぬものがあつた。或る一人は印度人の間に埋れ又或る一人は海賊になつたと傳へられてゐる時とアギレ家代々をを通じて或る宿命が家の誰かの後を追ふてゐる様に見えた。

御運動に勵まされお食慾も進ませられ毎日お規則正しく九時間のご睡眠をさせられるので今日は最もご安心申上ぐべきご體量を保たせられご運動のご徒歩も平坦な場所は侍従のお扶けもなしに玉歩を運ばせられご記憶力はご病質上ご避暑以前に比して著しくご回復の程

ディイアの不安 「廿」

ピオ・パロハ作
住谷朋花譯

第二編 幼年時代
第五章
ウルスラ伯母

上に對して其の憎惡の念を大袈裟に云つてゐたに拘らず、俺にはあつた海賊になつて行き通ふ船に乗りつけて、其の寶物を奪ひ取つて何處か無人島に下も隠して置く事は非常な愉快な事

皇帝ドン・カルロスは海賊ホ

一年に一回の形式とすつて公表したもので遺憾ながら畏くも直に御快御を御待ち申すことが覺束ない代りには御昂進を拜するやうなことは萬あるまいと信ずる御病も御氣永に御靜養とせられて存はすのだから國民はこの點につき安堵申上るがよし聖上の玉體には暑熱最も悪く冷氣は御かきひないか

皇孫賢所皇靈殿神職にご進調
の儀（ご誕生後五十日目）

▲母國近情▼

●小作議員學校

日本農民組合では此春の村會議
員選舉で小作人より二千の村會

シアンテイ・アン

國のものを東京大阪門司の三ヶ
所に收容して行ふはず尙今後は
行囊の保健衛生に特に留意する
由なれば愛のたまふと共に恐
ろしいばい菌が一諸に配達され
たりするやうなことはなくなる
であらうと

上の御經過につき、大森皇宮大夫西川侍醫を通じて拜承すれば、去る六月沼津御用邸に在ります宮内省より御容體書を公表したることによつて、聖上の御病氣にはかに進ませられ、この如く誤つて國民は只管御憂慮申上上げるやうであつたが、この御容體書は決してにはかの御病狀ではなく、夢昧にも忘れの玉體の御安泰を祈願してゐる國民に在らせらるる

に關御宮内大官の邸で、取手縣に附屬此宮の御所、明治の初めに
よりせられた御ち皇孫の誕辰前後に
行はせられる御儀式の順序は
御帶進獻の儀
賢所皇靈殿神威にご看帶ご報
告の儀
御着帶の儀
御劔を賜ふの儀
御命名の儀ご誕生後七日日
賢所皇靈殿にご誕生ご命名報
告の儀
御浴湯の儀

てゆくこと

●日本一の大洗濯

明治四年以來の垢落し
通信省では來年三月を期して全
國一齊に約百五十万個の郵便
袋の大洗濯を行ふことになつた
が明治四年以來初めてなので全

れた大官等も終始晴やかに在
す玉顔を拜し御健勝の程拜察さ
れてこの上もなく
御慶び 申上げたや承り聖

如く去五日開院元帥宮で奉仕の議員を選出したがこれ等新らしい下にご着帯の御儀式を執り行はれ議員達の行動は直ちに將來のせうれたるなかに皇孫の誕生に無產階級連動の行衛を示すものに伴ふ諸儀式その他に就ては既に作らばるゝものとなつては既に就て農民組合では其入達に無

ギレ家か出現してゐる。即ち
オヤルスン、ガヴリア、及ナ
バラの三ヶ所にある。ロベ
デ、アギレは此等三家の中の一
に違ひない。

ロベは十六世紀の半秘露に著
いた。そしてゴンサロ、ビッ
ロが謀叛を起した時に之に興
みした。一時は其の配下に在
つたが、後之に反旗を翻し、
昔の僚友に對し未層有の慘酷
なる行動を敢てした。

「ルツサロの歴史の巨魁」の由にシントキギの云つてゐる事は秘露とヴチヌエラの歴史から幸へたものだ。

此の恐ろしい俺の先祖が大体どんな奴であつたかを知らせるために、今シントキギの著者から次の文句を引いて見る

『ロベ、デ、アギレは十六世紀の上旬生れ、ビスケー人であつた。生れた町は不明である。十六世紀には三つの重要なア

に度々此の古い手記が万々見づかりはしないかど、アグレチエの隅から隅まで探して見ても呉の頼みよつた。然し何處を探らつてそんな紙片は何も出て来なかつた。無論祖母の死んだ時に何所かへ失つて終つたのだらう。多分今あの古い大きな家に住んでゐる船乗りのなんか云ふ男が龍の附木の代りにでもたことだらう。

語りの中にも實際あつた事さへは餘り飛び離れて荒唐無稽すぎるのは、「氣狂ひのロベデ、アギレ」或は「叛逆者のロベデ、アギレ」と呼ばれる人の話であつた。俺は此の男の恐ろしい數々の冒險を繰返して讀んだ。手記には細大漏さず詳しく説いてあつた。

第六章
叛逆者ロベ、デ、アギレ
此の「アギレ家の歴史」は澤山の船長や船乗りや冒険家や宣教師が占めてゐるが、それ等の物

目下羅馬、滯在中の聯邦統計局長カルパリオ氏は全市において過般伯國行伊國移民に就て一場の講演を試みたが氏は聖州行きに特に農國勞動を目的とする伊國移民の位置は從來兎角惡評されてゐたがそれは事實に相違してゐるもので且つ、ノは遺憾なく伯國々法によつて保護されつゝあることを實例を擧げて説明し次いで目下盛んに入國しつつある日本移民に言及し伊國民は九針一六七針一七八針であるとの之を價格にて表示すれば「單位コント及び千磅」

	伯實	英貨
一九二五	一〇八〇六	二四七
一九二四	一一三二五	二九三
一九二三	一三三六四	三二四
一九二二	九〇一一	二二九
一九二一	六二〇七	

洋酒各種、茶、レイテ
ゼンマダ、ビーフ、鶏卵
ミンガオ其他

Miss: 日曜學校 午後四時
大人集會 午後八時
(Cai-xa, 2-N São Paulo)

午後二時 日曜學校
 日本人基督教會
 牧師 伊藤八十二
 教義講習所
 フンテ街二三番二階
 毎水日曜日午後八時
 郵箱二八七八番

今度上記の場所に於て再び旅館開業仕り候間倍舊の御最負賜はり度奉懇願候
舊ホテルコングレソ
澤尾ホテル
パウル北西驛前
電話 一五六

パウル市ソロカバナ街三乗

尙上等綿種子(消毒済)の御
注文に應じます。

測量、製圖

道路工事請負並設計

土木技師
野村
秀吉

一七九

前驛ルウバ線西北
平心山沖

NIPPON YUSEN KAISHA
日本郵船株式會社

路 航 短 最 の 絡 連 伯 日

丸らくまか

き行本日由經坡嘉新、阿南役荷港入ストンサ日五月一十

本日郵船會社船は毎月定期にサ
 本日の由經由南亞行
 三客等に對しては特
 寧町に膳食を吟味し
 計つて
 尙貨船は本日まて五十二
 噸共稅

へ店理代記下は會照御の他其賃運
すまゝ致ひ願御

F. S. Hampshire & Co. Ltd.
S. Paulo: R. Alv. Penteado, 17 sob.
Santos: R. 15 de Novembro, 147 sob.

農家諸君

ポ・カツフロ は馬蹄莖、葡萄、トマテ等の害虫驅除藥として、其効力顯著なる點において、其經濟的な點に於て又其極めて實用向な點において遙かに硫酸銅の上に在ります、即ちコチア、ビチエロス其他本劑を使用する地方において產出するバタ、が特に州内最優等の定評ある所以に其實例は下記の諸氏に就いてお訊ねになれば判ります

コチアでは
アントニオ
吉本

全
森
田
彌
吉

ボツカツファアは又馬齡莖に棉種子の消毒藥として用ゐてラガルタ・ロザードを撲滅する特效があり、
棉アルファア其他の『クルクリ』退治には

ア
ゾ
！
ル

が、一番効き目あり、其葉莖をいためず、使用者の健康を損ぜない特徴があります。然しながら、如何に優秀な驅虫剤でも、噴霧器の良否により其効果に重大の差異があります。此懸念も、攪攪機付噴霧器「ヴォルピ」(VOLDIP) 右の見本、見本書其他照會等はすべて下記へを使用することによつて、雲散霧消致します。

Rua Conceição 3-E, Caixa Postal, 2933 S. Paulo

奉 祝

雜貨直輸入商
椎野兄弟商會
堺市エルミニヨレモス九

精米精棉並フバ製造所
貨雜卸小賣 農產物仲買

大 原 兄 弟 商 會

北西線 アラサツバ
電話 三〇番
郵 函 二〇八番

農產物仲買
珈琲精製所

安 瀬 商 店

北西線 アラサツバ
アグアリンバ

お待ち兼ねの三共特製のお美味しい煎子が出来
ました
各地有名な食料雜貨店でお求めを願ひます

い り こ
ケヅリ 節

製造本舗 三 共 商 會
サントス セナドル・ダントス街五三
電話 セントラル三〇五四
郵 函 三二八

奉 祝

上 原 商 店

サントス市

奉 祝

神 田 榮 太 郎

サントス市

奉 祝 天 長 節

ヤ マ カ 合 資 商 會

サントス市

奉 祝 天 長 節

家具商
金 山 喜 三 郎

サントス市

奉 祝

伊 東 商 店

サンパウロ市

奉 祝

蜂 谷 兄 弟 商 會

本店 リオ、デ、ジャネロ
支店 サンパウロ市

奉 祝

旅 館 潮

前田 吉太郎
サントス港

奉 祝

家具商

カ ー ザ ジ ャ ポ ン

本店 ルアアロシエ 四
電話 シター五二〇七
工場 エビタシオベンア一五
電話 シター四六二〇
吉田 政之進
職人 一同





君が代は
千代に八千代に
さざれ石の
巖となりて
苔のむすまで

賀歌

翠生上

苗もゆるブラジルの大野に、
かむな月みそかなるよき日は来
れり。この日はも、安見し我
が大君、あめの下しろしめして
今十四年、うつし世に高き光りま
してより、四十あまり七とせ、
聖のよはひを祝ぎにことほぐ今
日のよき日ぞ。よろづ類はぬと
つ國にまれ、なぐはし日本たみ
くさは、心のたけをつくして思
ひはろかにもけふの佳き日を千
重しくに祝ぎてあなり。

金色の舞

日の没りを見つめよ、
空に地上に漲れる
黄金色の裝飾を。
おき、入る日の炎の海よ
枝をつらぬき
幹をへりどり
森から丘に
金煙の帯を透き織り
萬象は虎斑のうろはしさに
着色し千百の
情景悠遠に流る
美しき西風よ
おほなる黄金の光華よ
崇厳な日の没りである。

Dr. Arthur Zapponi
Medico, Operador, Parteiro

診療所 (午後三時より)
聖市 (大森街四十番)
二十番室
電話 セントラル六三二一
師 醫 アルツール
ザッポニー
自宅 (自午後一時至二時)
自午前八時至九時
聖市 (大森街一四番)

農産物仲買商

噴霧器ベルデバリス
アルセリコ、サルバ
ドール等の取扱販賣も致し

岡島仁郎

セ、セーザル驛
郵函、十四番

金銀細工、鍍金細工
萬金物細工、鋼鐵細工

石油ポンプ製造元
横井製作所

カンタレーラ線
ツクルビー町八番

アラードの要る人は
カンナ採取機、要る人は
精米機、要る人は
其他農具上の凡ゆる機械、要る人は
明日といはす、今直ぐに
Casa Upton Rowle & Co
R. Florencio de
Abreu, 90-A



奉祝天長節

寫真師

高山運平

聖市

奉祝天長節
高岡專太郎

奉祝天長節
金城山戸
聖市

奉祝天長節

日本貿易商會

聖市

奉祝

天長節

建築請負業

小倉嘉平

聖市

奉祝

藤崎商會

本店 リオデジャネロ

支店 (サンパウロ
ベルナムブコ

奉祝

海外興業株式會社
伯國支店

イグアツベ
植民地

聖市

移民部

アニニーマス

耕地

NIPPON YUSEN KAISHA

日本郵船株式會社

日伯連絡の最短航路
鎌倉丸 十一月五日サントス着
荷役後南亞細亞經由日本行
船賃 日本郵船 一等 七十六磅
二等 三十一磅
委細は左記代理店へ御問合せ被下度候
F. S. Hampshire & Co. Ltd.
Rua Alv. Penteado, 17 S. Paulo
Rua 15 de Novembro, 147 Santos

農産物仲買
殺虫剤、農具、諸機械
果實苗木の取次販賣

山根商店

北西線リンス町
郵函……一、二、四

奉祝天長節

諸機械修繕

竹内鐵工所

竹内金市
釧路市 カニデ街二七

奉祝
家具商
カーザ東郷
聖市 中山仲一郎

奉祝

御旅館 上地

上地彌藏

奉祝天長節

御旅館 小川

小川源右衛門

奉祝天長節

御旅館 末廣

中山忠太郎

奉祝天長節

成功館

サントス市

奉祝

御旅館 旭

秋田 余三郎

奉祝天長節

御旅館 大和

坊迫 健造

奉祝

東京館

聖市 マウア街

奉祝

カーザ東京

杉本芳之助

聖市

奉祝

瀬木商店

サンパウロ市

奉祝

家具商

カーザ 廣島

中尾京之助

聖市



羊の家

噴野子

文子は今年十歳になる。彼女は一昨年の春、櫻の花に深い名残りを惜んで、懐かしい日本の地、親しい友達にもお別れして、父と母や兄の僕一等と、遙々富夏の伯刺西爾に來て、南地方のある牧場に住み着いた。

果もない噴野、その中に青々とした波を打つアラファアの湖水、年中絶えない美しい花、小鳥、さては森の中の白壁の家、牛の群、野の霧、日の出、入り日等限りない新奇な牧場生活は故國の懐しの影を惹き、此の頃では樂天地の様に思へるのです。文子にとつて、更になごやかな生活の興味は、彼等の森の家から谷を隔て、丘の上の羊の家、の女王となる日々の務めです。

彼女は涼しい睡孔を離れて、毎朝日の出前に、チリと叫ぶ忠犬を従へて、銀の鈴を振る羊の家を訪ねると、羊の群は一齊に柔和な聲を咩いて、彼女の廻りに集るのです。彼女は疾霧の中に吸ひ込まれて、牧場にそれを導くのです。

彼女が朝の快風に飽満して森の家に歸ると、父と兄は牛を放つて、乗馬の足音軽く歸つて來る。そして母待つ森の家で、温かいカッフェを啜るのです。

夕には教會堂の空が夕焼けて彼女が羊を集めて歸る赤土路を父と兄は牛群を連れて歸る。門には母も出迎えて、夕食の準備は僕一の仔牛の語、文子の仔羊の述懐、それらに最良々々の物語りで森の家は賑やかです。

△△△

十月末、南部伯刺に春の陽はとくに隠れ、噴野に夜の幕は除々に下される刻になつても森の家に文子の歸りがなかつた。

「僕一は妹を案じ、父母の心配をもになつて羊の樂園に驅けつけた。」

「文ちゃん、僕一は呼んだ。そこに妹は仔羊ハミの行術を尋ねあぐんで泣いてゐた。」

忠犬のチリは野邊を駆け廻つて忠告を立てゐた。

「文ちゃん、お父さんもお母さんもお待ちかねだから、明日に於て今日に歸りませうね。」兄は妹をなだめた。

然し羊想ひの妹がいつかな動かないのに、つり込まれて妹想ひの兄も歸りを忘れ羊を探した。でもその夜は父の出迎ひに、ハミなしに皆引き上げた。

門には母の心配顔が待つてゐた。父母や兄の慰めにも、文子は空腹に夕飯も載かずに泣いた。

その夜半は嵐になつた。森の家では文子が眠らずにハミの身の上を哀しんだ。羊の家からはハミの母親の哀かな聲が風交りに文子の寢室の窓を叩いた。

いつの間にか、文子の枕邊に牧羊神が立つて、ハミの迷ふことを告げた。文子の夢であつた。またランサが哀かなハミを喰えて驅け出したのに驚いて、眼が覺めたりした。

翌朝は嵐も晴れた。深い朝霧の中に朝とくくく尋ね出た文子と僕一は、霧奥に、嵐の一夜を受難した子羊を見出して、凱歌を上げて、森の家に歸つた。それを父母も歓迎した。

カッフェの後、今日の仕事を休んだ楽しい森の家では、父母も兄も妹も、皆して輝き出た。旭日を拜して、遠い母國の空を仰ぎ、「今日のよき日」の十月三十一日を祝し合つた。

「今日のよき日は……」の目出たい歌謡は緑の野を流れ、霞の岡にこだまし、碧の空に響きわたつた。森には小鳥の聲も長閑に野には羊の聲も柔和に、相和して、南國の春の牧場は平和の雲團氣に満ちた(をばり)

奉祝天長節

サントス

天長節祝賀會

奉祝天長節

矢部洋服店

コンデサルゼーダス
百十九番

奉祝天長節

松尾家具店

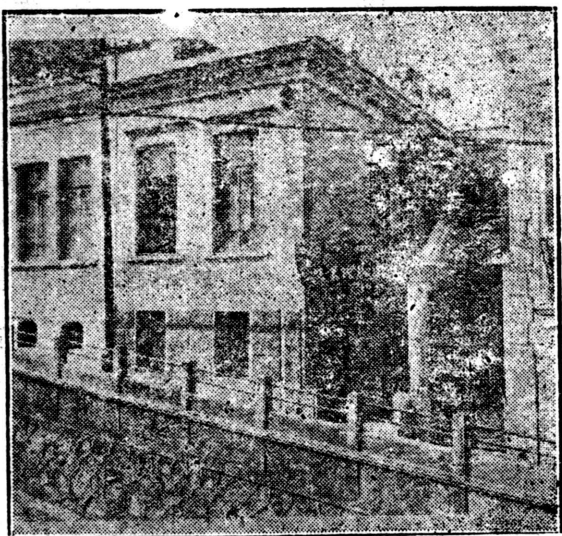
聖市マデヨルデオゴ五

奉祝天長節

ジユキア線

日本人會

奉祝天長節



御旅館常盤

聖市コデンザル街卅九番一
電話セトンラ六七三

奉祝

天長節

建築請負業

とめじま組

聖市

奉祝天長節

横濱正金銀行

リオ支店

リオデジャネロ市

天長節祝賀

本十月三十一日は天皇節祝日に相違ないので、聖市總領事館では、祝賀の通り午前十一時より官舎に於いて在留民の拜賀式を挙行する。後四時半より七時半までホテル・ルミナスで内外知名の士を招待し、レセプションを催す。等々、在留民主催の祝賀會は正午から、アクリマン公園内で開かれる。由である。

鯨島優勝旗争奪戦

土日月三日間、公園で、既報の通り、野球リーグ協會の鯨島優勝旗争奪戦試合は、本三十一日、天長節祝日を以て、アクリマン公園蹴球グラウンドで催され、明日曜日に明後月曜ともに午後一時半から開演する。等々、夫々後援者始め、好球家へ招待状を出した。由なるが、アニューマス軍は選手のうち、赤痢其他の流行病に侵された者あり、不参加の止むなきに立ち、到つた由で、爲めに本年は、レヂストロ・對・ミカド軍の三回戦となる。は、當日兩軍のメンバーは、

▲レヂストロ軍(投、曲尾捕)牛越弟(一)唐澤(二)大室(三)辻川(遊、牛越兄(右)竹田(中)松本(左)補欠、淺沼村田
▲ミカド軍(投、西郷捕)川田(一)福田(二)原(三)藤齋(遊)「外野」村田、野村、神田、手塚、樋口、杉野、長谷川、貴邊
因にレヂストロ軍は去二十七日、出發二十九日午後入聖旅館常盤に投宿してゐる。

●カナダ丸五入港 商船カナダ丸は新移民二百名をのせて、來月五日サントス入港の豫定。なすが、リオにおける防疫の都合で、或は後れるかも知れず。
●同仁會衛生講習會 同講習會は來る三日より開催の豫定。なすが、此度出席の確定せる講習生は四十名に近く、前同に比べると大分増加してゐる。係員は今から準備に忙殺される。由尙同。

仁實では過般七個の注射器を購入の上、注射液を添へ、第二回分として、各個人集團地に夫々配布した。
●日本俱樂部ピクニック 既報の通り、全俱樂部は去日曜日に購入したモルンビーの土地へ、部員のピクニックを催した。前日の降雨で電車から一キロ餘りの往復道路には、霧から、霧を、おかねばならぬ。氣味だつたが、シダムの遊山、赤土、握るも、亦一興であつて、當日は、ムシ暑い夕立日和であつた。にもかかはらず、部員は家族を引いて、大方出動。彼此六十名、いふ盛況で、一同打遊、ろ、樂し、半日を過した。が、オゾンの供給が豊富だつた。故か、アベ、チツ、盛ん、増進、お蔭で、カミニ、オン、に、由、積、んだ、常盤、仕出し、の、馳走、ベロリ、と、平定。
●寄附 カタンヅ、バ、無名氏

告示

來る三十一日、天長節祝日、拜賀式、の、次、左、の、通り、相、定、む。
大正十四年十月二十二日
在サンパウロ
帝國總領事館

一、場所 「アベニダ・アンジェリカ」百七十七番總領事館官舎
一、時間 午後一時より三時
一、服装 不整に汚れたる限り別段制限なし
一、名刺 各自名刺を持参せられたい

よりミカド俱樂部へ五十軒寄附電力米不足 聖市における電力不足の話を随分久しいが、ライトでは未だ満足な給電を行ふてゐない。過般、成したラズゴンの發電所も平常なら二萬一千キロを供給し得る等である。のに、水量不足のため、一萬三千キロワット前後しか發電し得ず、尙パウワソウザの火力發電所も一萬基ワットの發電能力がある。に係る燃料の高價のため、收支は、希望の通りに、し、發電して、を、ない、有、様、で、愈々、本、腰、の、雨、期、に入り、河水の増量、を、來、さ、ない、限り、未、だ、一、當、分、は、現、狀、に、甘、じ、な、ければ、なる、まい。

土地賣代理人を求む

在留日本人信用あるソロカバナ又はノコエス・線、在任の敏腕家を求む。手数料多給。委細は下記へお尋ねあれ。

Sr. Rodolpho

Rua João, No. 380 S. Paulo

棉花並に雜穀賣買

木村孝太郎

ソロカバナ線
アルバレス・マツ・シャード驛
郵 函 一 番

土地

中央線モザ・ダ・グレイセス
驛より四基、自動車道に沿ふ
十二アルケルスの土地を賣り
ます。土地は三十坪のジャ
ガチ・カ・バ・マ・メ・ロ・あり
清水が湧き出てゐます。代價
は十六コントス(二萬圓)とし
ます。詳細は左記へ。
Francisco Costa
R. Ricardo Villa, 73
Telephone, 129.
Moggy das Cruzes,
E, F, G, B.

青年を求む

珈琲園に労働する者
数名(夫婦者にもよろし)
給料一ヶ月五コントス以上
給料一ヶ月五コントス以上
希望の人には語學勉強の便
利を計る
希望者は左記へ、
ガルサ・殖民地
H. Takeuchi
Caixa postal 110
presidente Alvaro
L. Noroeste

Pharmacia Luiz Pereira Barreto
Rua da Gloria, 54-B Tel. Cent. 4925
SÃO PAULO

▲藥店の部

當市唯一の日本人藥店として内外藥品、化粧品、農業用藥品、賣藥品等皆揃ふてゐます。醫師の処方等は確實に調劑致します。用舎よりの御注文藥品名は日本語又は葡語、英語でも便宜御願ひ致します。
農科用アルセニコ・プランコ
(Arsenicum) 一キロ四ミル
農科用スルファトコ・プレ
(Sulfur) 一キロ二ミル四四ミル
農科用スルファトコ・プレ
(Sulfur) 一キロ二ミル四四ミル

▲製藥の部

ポリビタミナ
(Polyvitamin) 水薬
小兒の成長を促進し大人には最も合理的な強壯劑。母乳をよくし産前産後により、特、營養不良兒には、缺くべからざる強壯劑。
ポリヂアスターゼ
(Polychaesterase) 水薬、粉薬、錠劑三種
最も強力消化素。消化力良し。因する各種胃腸諸症に顯著なる良効あり。因する各種胃腸諸症に顯著なる良効あり。
ビーダン・ヴィタ(水薬、注射液)
神經衰弱症、肺結核、病後、元氣恢復等に顯著なる良効あり。因する各種胃腸諸症に顯著なる良効あり。
諸君は伯國聯邦政府の分拆及試験済にして諸名醫人家に證明せられてゐます。

優秀 珈琲地帶賣出し

一、位置 ノロエストラ線サンビラ停車場より初まり「エス・ビゴ」迄僅々十三キロメートル。は當ノロエストラ線に於て他に見ざるパウダー・リコ、フキグーラ及ベローバの繁茂せるライ・ラ・シヤ地帯。
一、總面積 貳萬貳千アルケル。右の内土地購求者の自由擇定に任せ珈琲地帯を提供。
一、拂込 は絕對に確實。市銀行「バンク・デ・コンマ・シオ・イ・インデウ・ストリヤ・デ・サン・パウロ」が絕對の保證をなす。
一、價格 一アルケル、金二百五十針より金五百針迄。方法も種々あり御相談の上出來得る限りの御便を圖る。
一、地券 保証銀行
土地所有者
事務所ノノエストラ線アラサッパ驛
オラル・コム・メルシ・オ・イン・デ
同・ル・サン・ビラ・驛
担当主主任土木技師中島一男

申込所

詳細は担当者主任技師中島一男氏より御照會且つ御申込被下度、尙ほ御視察に御出の節は前以て現場宛御一報下されば御案内の用意萬端相調へ置き可申候。

Brazilian Warrant Co. Ltd.

輸 入 部

錫	: Glidden : 金針用糊
類具金	鯨ンズ・ラ・カス・オ
鐵銃	り賣りかはし、並入罐 neeter 茶
糸綿	他其 Femer 油麻亞止純
器具製鋼	Giant 達普性荷
望白 膏石	管鉛亞
漆 膠	(M Y, D) ヤ・グ・ル・ア
石炭烏島秘	一ニモチン・ア
器磁陶	切一具器用生衛
ユウソ	(キツメ鉛亞) 線銅
一バ	Cão コンラゴニセル・ア
礬明	瓦煉色
鹽ルベ・ログ	板鉛亞
(Brandram) 石硝	トメシ
靴底ムゴ	(Browus) . パフ
銅酸硫	黃硫
(Staphens) タンナ	ダ・ヤ・シ・ン・エ

Rua de S. Bento, No. 54-sob-S. Paulo
Caixa Postal, 914 End. Telegraphico (Warrant)

